



馬の学校

馬の学校通信

2014. 9 vol.55

発行 馬の学校

事務局 〒468-0007 愛知県名古屋市長区植田本町 3-1105-302 TEL/FAX:052-805-2920

E-mail: mine@horseschool.org ホームページ: http://www.horseschool.org



秋のプログラム 参加者募集!

馬とのふれあいプログラム (服部緑地乗馬センター)

① 日程: 11月8日(土) 午前9時~11時
 対象: 小学2年生~高校3年生 (定員4名)
 内容: ブラシがけ・乗馬 (成馬にてレッスン)
 馬小屋掃除・にんじんあげ
 参加費: 1人 ¥8,000 (現地集合・解散) / 1回

② 日程: 11月9日(日) 午前9時~10時30分
 対象: 3歳~小学2年生 (定員6名)
 内容: ブラシがけ・乗馬 (ポニーにて引き馬)
 馬小屋掃除・にんじんあげ
 参加費: 1人 ¥5,000 (現地集合・解散) / 1回

★お申し込みは、会員の方は9月22日(月)から、一般の方は9月24日(水)から、電話、FAX、メールにて事務局まで!
 (留守電の場合は、お名前と希望プログラムをお伝え下さい。折り返し、こちらからお電話いたします。)

日本治療的乗馬協会からのお知らせ

<第10回「治療的乗馬」研究集会>
 大会テーマ: 一歩前へ; 馬をパートナーとした心身の健康への取り組み

内容: 活動実践、研究、トピックスの発表と協議
 会期: 2014年11月15日(土)・16日(日)
 場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター
 (小田急線「参宮橋」駅より徒歩7分)
 *詳しくはHP (<http://jtranet.jp>) をご覧ください

夏のプログラム 活動報告

ミルキーの裸馬体験 (8/9・8/11)

10日は台風で悪天候だったため、11日に延期して実施しました。ウマキャンプ参加者や保護者の方、以前長野県内で講演をしたときに参加された方などが集まり、楽しく行うことができました。少しの時間でしたが、ミルキーの温もりを感じ、体と心を預けることの心地よさを感じてもらえたのではないかと思います。



この乗り方が落ち着くのだそう



娘も一緒に乗りました



初めてでドキドキ



ちょっと大きくなりすぎたかな(笑)

タイムカプセル開封 (8/11)

こちらも台風のため、11日に延期して行いました。缶の中に密閉ガラス瓶を入れたタイムカプセルは、とてもきれいな状態で掘り出すことができました。それぞれが5年前からこれまでを振り返り、5年後の自分を想像しつつ、またタイムカプセルを埋めました。



無事に発掘!



また5年後に・・・



馬のおもちゃ⑤

『メイシーちゃんのたのしいうじょう』

しかけ絵本ですが、おもちゃとして楽しく遊ぶことができます。農場なので、いろいろな動物が登場し、もちろん馬もいます。立体的な納屋や庭で、動物や小道具（ブラシ、スコップ、一輪車、ジョウロなど）を使って、ごっこ遊びができます。娘は馬にブラシをかけたたり、ポロを取ったり、畑の作物に水をあげたりして、毎日のように遊んでいます。題名通り、楽しいようです。

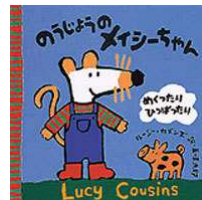


おすすめの本

『のうじょうのメイシーちゃん』 偕成社

作・絵：ルーシー・カズンズ 訳：五味太郎

農場のお仕事がかけ絵本で楽しく描かれています。卵を集めたり、あかちゃんひつじにミルクをあげたり、ふたごやのそうじをしたり、馬にも乗ります。めくるといろいろなものが出てくるしかけが楽しいようで、娘のお気に入りです。また、この本を読むようになってから、『メイシーちゃんのたのしいうじょう』での遊びに広がりが出てきました。



馬の郷土玩具・民芸品（4）

<赤駒（東京）>

昭和20年代に深大寺周辺で売られていた藁馬「赤駒」。作り手が減り、一時は姿を消していましたが、門前横の甘味処の女主人が当時を知る人から作り方を教わり、16年前に復活しました。赤駒は、『万葉集』の「赤駒を山野に放し 捕りかにて 多摩の横山 徒歩ゆか遣らむ」という歌にちなんだもの。「放牧した赤駒を捕まえられず、夫に険しい多摩の横山を歩かせることになってしまったよ」という歌には、夫の無事を願う妻の祈りが込められています。それが転じて、いまは愛する人や家族の無事を願うお守りとして親しまれています。



<赤馬土鈴（愛知）>

素朴でかわいらしい素焼きの馬は、赤穂浪士の物語「忠臣蔵」で有名な吉良上野介の栗毛の愛馬を模したものです。忠臣蔵では敵役の吉良公ですが、地元の三河の国では、馬に乗って領地を見回り、村人にも気軽に声をかける名君として慕われていました。その得をしので作られたのが「赤馬土鈴」。吉良家の菩提寺を務める華蔵寺で、家内安全や出世を願う民芸品として授与されています。



参考文献：『天然生活』2014年2月号

編集後記

ようやく朝夕は過ごしやすくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。

8月に小須田牧場でプログラムを実施した際には、懐かしい話に花が咲いたり、子どもたちの成長にびっくりしたりと、とても楽しい時間を過ごすことができました。娘を連れての初プログラム、どうなることかと思いましたが、参加者の方や牧場スタッフにサポートしていただきながら無事に終わることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。娘は、ぬいぐるみではなく本物のミルクイと対面した際には、ためらうことなく草をあげたり、なでたりと、あっという間に仲良くなりました。親子乗りも何度も楽しみ、裸馬に乗った時には降りるのが嫌で大泣きしたほどでした。他にも、ポニーのブラシがけをしたり、小屋のそうじをしたりと、ゆっくりじっくり馬と関わる中で様々なチャレンジができ、時間をかけて体験していくことも大切だと改めて感じました。（峯崎 友香理）

